

P/N. 920-011912-02

Edition A

10.2015

# KSW-BPシリーズ コマンドリファレンス

ご注意.....	4
はじめに.....	4
EZPLコマンドについて.....	4
コマンドと規則.....	4
セットアップコマンド.....	5
^An - 印字方法 (DT-2/DT-4は除く).....	5
^Bx - バックフィード長.....	5
^Cx - コピー数.....	5
^D+dddd.hh - 日付計算.....	5
^Dx - カット枚数指定.....	5
^Ex - ラベル停止位置指定.....	6
^Fname - ラベルフォーマットダウンロード.....	6
^Gn - Enable/disable シースルーセンサー切替 *シースルーセンサー搭載機種のみ.....	6
^Hx - 印字濃度設定.....	6
^Kname - ラベルフォーマット呼び出し.....	6
^L - ラベルフォーマットコマンド開始.....	8
^Mx - ラベル送り.....	8
^On - 剥離/アプリーケーター(自動貼り装置)の切替 *アプリーケーターはKSW-800プラス/600プラスのみ.....	8
^PAx - 自動印字(可変、連番印字).....	8
^Px - 印字枚数.....	8
^PI - 連続印字.....	9
^Qx,y,(z±) - ラベル長さ.....	9
^Rx - 左余白.....	10
^Sx - 印字スピード.....	10
^T+hhh.mm - 時間計算機能.....	10
^Wx - ラベル幅設定.....	10
^XGET,CONFIG - ステータス確認 * KSW-500シリーズのみ.....	10
^XGET,TPHRESISTANCE - ヘッドチェック *対応機種のみ.....	11
^XSET,ACTIVERESPONSE,n - プリンターステータス.....	11
^XSET,BUZZER,n - ビープ音設定.....	12
^XSET,CODEPAGE,n - コードページ(文字セット)設定.....	12
^XSET,CF_FORMAT,1 - CFカードフォーマット *対応機種のみ.....	12
^XSET,IMMEDIATE,n - 即実行コマンドの許可.....	13
^XSET,KEYBOARD,n - キーボード設定 * KSW-800プラス/600プラス/PIシリーズのみ.....	13
^XSET,LANGUAGE,n - LCD言語設定 * KSW-800プラス/600プラス/PIシリーズのみ.....	13
^XSET,MEMORY,n - CFカード/フラッシュメモリ切り替え (DT-2/DT-4は除く).....	13
^XSET,TOPOFFORM,n - Top of Form.....	14
^XSET,UNICODE,n - ユニコード設定 *対応機種のみ.....	14
^XSET,USBETHERNET,n - USB / Ethernet ポート切替 *対応機種のみ.....	14
^XSETCUT,DOUBLECUT,x - ダブルカット.....	14
^XSETCUT,MODE,n - カッターモード *対応機種のみ.....	15
^XSET,PASSWORD,n,x - フロントパネルロック * KSW-800プラス/600プラス/PIシリーズのみ.....	15

^XSETRTC,ISOWEEKNUM,n - ISOウィーク .....	16
^XSETRTC,LANGUAGE,n - 言語レイアウト .....	17
^XSET,REWINDER,n- リワインダー(巻き取り装置) * KSW-800プラス/600プラスシリーズのみ .....	18
^XSET,SLASHZERO,n - スラッシュ付きゼロ .....	18
^XSET,SMARTBACK,n - スマートバックフィード .....	18
^Yb,p,d,s - シリアルポート設定 .....	18
コントロールコマンド .....	20
~B - バージョンの表示(ハイパーターミナル) .....	20
~Dm,d,y,h,i,s - 年日時設定 .....	20
~En, name, size - グラフィックダウンロード .....	20
~G - グラフィックモード .....	20
~H,TTF,name,size<CR>data TrueTypeフォントダウンロード .....	20
~H,TTF_TABLE,name,size<CR>data - ユニコードテーブル .....	21
~Jx - ビットマップフォントダウンロード .....	21
~Kn - 印字完了信号送信(RS-232) .....	21
~L,DBASE,x,y - dBase IIIのダウンロード .....	21
~L,SERIAL,name,data - シリアルデータダウンロード .....	21
~MDEL - メモリオールクリア .....	21
~MDELn,name - メモリクリア .....	22
~MDIR - メモリ情報取得(ハイパーターミナル) .....	22
~MGETS,name - シリアルデータ情報(ハイパーターミナル) .....	22
~MSETT,name<CR>nnnnnnnn<data> - テキストファイル保存 .....	22
~MGETT,name<CR> - 保存ファイル呼び出し .....	23
~Px - 最終データ再印刷 .....	23
~Q±x - オフセット調整 .....	23
~Rx - 180° 回転 .....	23
~S,CHECK - ステータス応答コマンド(ハイパーターミナル) .....	23
~S,DUMP - ダンプモード                   *対応機種のみ .....	24
~S,n - コントロールパネル操作 .....	24
~T - ヘッドテスト .....	24
~V - プリンタ情報印字 .....	24
~Xn - メモリ情報印字 .....	24
~X7 - データベース情報の印字 .....	24
~X8 - シリアルデータ情報の印字 .....	24
~Z - プリンタリセット .....	24
ラベルフォーマットコマンド .....	25
AUTOFR - オートフォーム *対応機種のみ .....	25
At, x, y, x_mul, y_mul, gap, rotation, data - テキストフィールド .....	25
AT,x,y,w,h,g,r,d,m,data - ビルドインTrueTypeフォント .....	25
ATt,x,y,w,h,g,r,d,m,data - Print downloaded true type font .....	26
Bt,x,y,narrow,wide,height,rotation,readable,data - バーコード .....	26
B5n,x,y,narrow,segment,height,rotation,readable,data - GS1 Databar *対応機種のみ .....	27
C#x,y,±value,z - シリアルデータ印字 .....	28

Cx,ys,±value,prompt - 連番設定 .....	28
Daa bb cc - 日付レイアウト設定 .....	30
E - フォーマットコマンド終了/印字開始 .....	31
FILEDB,OPEN,name - オープンデータベース .....	31
FILEDB,MOVE,n - レコード移動 .....	31
FILEDB,FIND,x,y - データベース検索 .....	31
Gwxxx - グラフィックコマンド .....	31
Hx,y,col_count,row_count,col_width,row_width,line_width - テーブル .....	33
La,x, y, x1, y1 - ライン .....	33
Mx, y, sno, nos, mode, ccode, zip, class, rotation, message - マキシコード .....	33
Px,y,w,h,r,c,ec,len - PDF 417 .....	33
PCx,y,w,h,r,c,ec,max_len,rotation - PDF 417(可変長) .....	34
Qx, y, width, height - パターン .....	34
Rx, y, x1,y1, lrw, ubw - 四角形 .....	34
Th m s - 時間フォーマット .....	35
V#ADD,name,size,prompt - 変数の定義 .....	35
V#ADDCHKSUM,x - チェックデジットの追加(モジュラス10) .....	35
V#LINKDB,x,y - データベースからの可変定義 .....	35
V#OPx,p1,p2,p3 - 可変フィールドの計算 .....	36
V#RENAME,name,x - 可変リネーム .....	36
V#SET,UNPROMPT,x - プロンプト無し可変フィールド .....	36
V#STRCPY,x,y - 可変フィールドのコピー .....	36
V#STRSUB,x,y,first,length - 可変データ部分コピー .....	38
Vt, x, y, x_mul, y_mul, gap, rotation, data - ビットマップフォントダウンロード .....	38
Vxx, length, prompt - 可変変数 .....	38
Vxx,length,prompt,jnl - 可変データの編集 .....	39
Wx,y,mode,type,ec,mask,mul,len,roatae - QRコード マイクロQRコード*対応機種のみ .....	39
Xx, y, z, data - データマトリックス .....	39
XRBy,y,enlarge,rotation,length<CR>data - Print DataMatrix Code*対応機種のみ .....	40
XRBy,y,enlarge,rotationR,length<CR>data - Print Rectangular DataMatrix Code*対応機種のみ .....	40
Yx, y, name - グラフィック .....	40
サンプル .....	41

## ご注意

- ご使用前に必ず本書をよくお読み下さい。読み終わった後は大切に保管し、必要なときに読み直し出来る様にして下さい。
- 本書の内容は、予告無く変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植等にかかわらず当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外のオプションや消耗品を使用した場合、その結果として発生したトラブルにつきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- お客様の誤った操作取り扱い方法、使用環境に起因する損害については責任を負いかねますのでご了承下さい。
- データなどは基本的に長期的、永久的な記憶、保存は出来ません。故障、修理、検査などに起因するデータの消失の損害及び、損失利益などについては当社では一切その責任を負えません。予めご了承下さい。
- 本書の内容について記載漏れや誤り、不明な点などございましたらご連絡下さい。

本書中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

## はじめに

### EZPLコマンドについて

EZPLコマンドは大きく3つのコマンドに分類されています。

- ◆ **セットアップコマンド** - プリンタの設定や制御を行います。
- ◆ **コントロールコマンド** - メモリークリアなど即座に実行するコマンドです。
- ◆ **ラベルフォーマットコマンド** - テキストフィールド、バーコード、罫線などラベルデータを定義します。

### コマンドと規則

EZPLコマンドはそれぞれに関連するパラメーターを持っています。

1. コマンドは機能ごとにIDと呼ばれるコードで始まります。
2. 小文字はパラメーターを表します。
3. コントロールコマンド及びセットアップコマンドにはヘッダー文字としてチルダ(`)及びキャレット(^)を使用します。
4. ラベルフォーマットにはヘッダー文字は付きません。
5. カンマ(,)はパラメーターを区切る記号で、「CR(キャリッジリターン)」は各コマンドの終わりを表します。

例: “~En,name,size “

「E」は、グラフィックイメージのダウンロードコマンドです。

そして「n,name,size」は、Eコマンドのパラメータを表します。

## セットアップコマンド

### ^An - 印字方法 (DT-2/DT-4は除く)

コマンド	^An	
パラメーター	n = D, 感熱モード n = T, 熱転写モード	
解説	印字モードを設定します。	

### ^Bx - バックフィード長

コマンド	^Bx	
パラメーター	x = 0 ~ 1000 (mm)	
解説	バックフィードさせる長さをミリ単位で指定します。	

### ^Cx - コピー数

コマンド	^Cx	
パラメーター	x = 1 ~ 32767	
解説	同一ラベルの印字枚数を指定します。	

### ^D+dddd.hh - 日付計算

コマンド	^D+dddd.hh	
パラメーター	dddd=日(4桁) 加算する日数を指定します。 hh= 時(2桁) 加算する時間を指定します。	
解説	指定した日・時をプリンタ日付に加算して印字します。	
例	以下のサンプルは、プリンタ日付とプリンタ日付に5日と12時間を加算した日付を印字するサンプルです。  ^Q40,0,0 ^W100 ^AT ^L Dy2-me-dd Th:m:s ~D01,01,05,12,00,00 AD,72,96,1,1,0,0,Manufactured Date: ^D ^T AD,72,190,1,1,0,0,Expiration Date: ^D+0005.12 E	(プリンタ日付) Manufactured Date: 06-JAN-01 12:00  (5日12時間加算日) Expire Date: 06-JAN-07

### ^Dx - カット枚数指定

コマンド	^Dx	
パラメーター	x = 0, カットなし x = 1 ~ 32767, カット枚数	
解説	カットする間隔(枚数)を指定します。	
例	コマンド ^Q20,0,0 ^P6 ^D2 ^L E	印字結果 計6枚印刷 2枚ごとにカット
	コマンド ^Q20,0,0 ^P5 ^D2	印字結果 計5枚印刷 2枚ごとのカットし、最後のみ1枚でカット

	^L E	
--	---------	--

### ^Ex - ラベル停止位置指定

コマンド	^Ex
パラメーター	x = 0~40 (mm)
解説	印刷後、ラベルの停止位置を指定します。

### ^Fname - ラベルフォーマットダウンロード

コマンド	^Fname data
パラメーター	name = ラベル名 (最大20バイト) data = ラベルフォーマットデータ
解説	<p>プリンタ内のメモリにラベルフォーマットデータをダウンロードします。ダウンロードが完了すると、プリンタは一度ビープ音を鳴らします。</p> <div style="text-align: center;"> <p><b>^Fname</b></p> <p>データ {        ⋮ } コントロール/セットアップ コマンド        ⋮ }        ⋮ }  <b>^L</b>        ⋮ }        ⋮ } ラベルフォーマットコマンド        ⋮ }  <b>E</b></p> </div> <p>既にプリンタに同じファイル名が存在する場合は“Repeat FileName”エラーを印字又はLCD表示します。そしてダウンロードはキャンセルされます。</p>

### ^Gn - Enable/disable シースルーセンサー切替 \*シースルーセンサー搭載機種のみ

コマンド	^Gn
パラメーター	n = 0, シースルーセンサーを使用しない n = 1, シースルーセンサーを使用 n = 2, オート * 対応機種:PIシリーズ・BPシリーズ
解説	<p>反射センサーではラベルによってはラベルギャップを検知することができないことがあります。例えば、厚い台紙や色のついた台紙、台紙に印刷があるものなど、センサーの読みにくいラベルはシースルーセンサーをお使いください。</p> <p>シースルーセンサーを使用する場合は、移動センサーを中央に寄せてください。</p>

### ^Hx - 印字濃度設定

コマンド	^Hx
パラメーター	x = 00 ~ 19
解説	印字濃度を指定します。

### ^Kname - ラベルフォーマット呼び出し

コマンド	^Kname
パラメーター	name = フォーマット名(最大20バイト)
解説	<p>プリンタにダウンロードされたラベルフォーマットを呼び出します。</p> <div style="text-align: center;"> <p><b>^Kname</b></p> <p>⋮ } データ        ⋮ }        ⋮ }  <b>E</b>        ⋮ }        ⋮ } コントロール/セットアップ コマンド [オプション]        ⋮ }  <b>~Px</b></p> </div>



### ^L - ラベルフォーマットコマンド開始

コマンド	^Lx
パラメーター	X=なし:通常印刷 X=I:白黒反転 X=LM:ミラー印字 X=Rn:n=0:0° 回転 / n=1:90° 回転 / n=2:180° 回転 / n=3:270° 回転 * [^XSET,ROTATION,n]コマンドと同様の機能です。 I,M,Rは同時に使用することができます。 ^LIM (白黒反転+ミラー印字)
解説	ラベルフォーマットコマンドの開始のコマンド

### ^Mx - ラベル送り

コマンド	^Mx
パラメーター	x = 0~1000 (mm)
解説	ラベルを指定した分だけフィードします。

### ^On - 剥離/アプリーケーター(自動貼り装置)の切替

コマンド	^On
パラメーター	n = 0, 剥離/アプリーケーターOFF 剥離、アプリーケーター共に使用しない。 n = 1, 剥離ON/アプリーケーターOFF 剥離機能を使用する。 n = 2, 剥離OFF/アプリーケーターON アプリーケーターを使用する。
解説	剥離機能又はアプリーケーター機能の切り替えを行います。このコマンドを使用する場合は、ラベル停止位置(^Ex)コマンドを設定してください。(剥離機能はp45を参照)

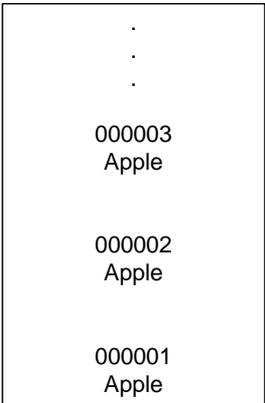
### ^Pax - 自動印字(可変、連番印字)

コマンド	^Pax
パラメーター	x=1~30000
解説	ラベルフォーマット呼出し後、可変データ、連番データを読み込み指定枚数分を印字します。 3枚印字します。
	^Flabel1 ^Q40,0,0 ^PA3 ^L C0,0000001,+1,Counter V00,15,Variable AF,108,140,1,1,0,0,^C0 AE,122,278,1,1,0,0,^V00 E ^Klabel1 00001 Variable E

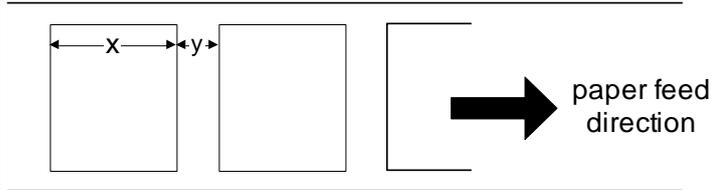
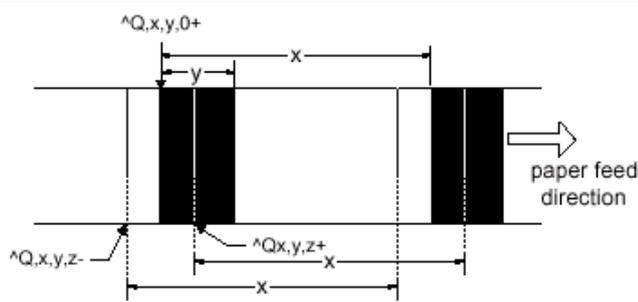
### ^Px - 印字枚数

コマンド	^Px
パラメーター	x = 1 ~ 32767
解説	印字枚数を指定します。シリアルNo.はリセットされます。

## ^PI - 連続印字

コマンド	^PI	
パラメーター	なし	
解説	このコマンドを受信するとすぐに印字を始め、キャンセルボタンかプリンタの電源を切るまで印字を続けます。	
例	<pre> ^Flabel2 ^Q40,0,0 ^PI ^L C0,000001,+1,Counter V00,15,Product AF,108,140,1,1,0,0,^C0 AE,122,278,1,1,0,0,^V00 E  ^Klabel2 00001 Apple E                     </pre>	

## ^Qx,y,(z±) - ラベル長さ

コマンド	^Qx,y,(z±)	
	ギャップ付きラベル: (図1) x = ラベル送りサイズ(mm) y = ギャップサイズ(mm)	
パラメーター	EX. ^Q25,3 (x=25,y=3) mm	
	連続紙: x = ラベル送りサイズ(mm) y = 0 (定数) z = フィードサイズ(mm)	
	黒マーク付きラベル: (図2) x = ラベル送りサイズ(mm) y = 黒マークサイズ(mm) z = 黒マーク位置(ラベル上部から黒マークまでの距離) z+: ラベル上部が黒マークより外側 z-: ラベル上部が黒マークより内側	
例.	^Q25,4,3+ (x=25, y=4, z=3+) mm  ^Q25,4,3- (x=25, y=4, z=3-) mm	
解説	ラベルサイズの指定 (長さ, ギャップ, [連続紙の場合はフィード量])	

### ^Rx - 左余白

コマンド	^Rx
パラメーター	x = 0 ~ 399 (ドット)
解説	左余白の設定

### ^Sx - 印字スピード

コマンド	^Sx
パラメーター	x=2 to 7 インチ/秒 x=2 to 6 インチ/秒 x=2 to 4 インチ/秒
解説	S2 = 50.8 mm/s S3 = 76.2 mm/s S4 = 101.6 mm/s S5 = 127.0 mm/s S6 = 152.4 mm/s S7 = 177.8 mm/s 印字スピードの設定。 濃度と合わせて適切に設定してください。 プリンタモデルにより使用できる範囲が異なります。詳しくはカタログ等で確認してください。

### ^T+hhh.mm - 時間計算機能

コマンド	^T+hhh.mm	
パラメーター	hhh=時間3桁(0~23). 現在の時間に加算する時間を指定してください。 mm=分2桁 現在の分に加算する分を指定してください。	
解説	プリンタの設定時刻に加算して印字を行います。	
例	現在のプリンタに設定されている時刻と 10時間30分後の時刻を印字するサンプルです  ^Q40,0,0 ^W100 ^H10 ^AT ^L ~D04,15,05,12,0,0 AF,600,102,1,1,0,0,^T AF,600,280,1,1,0,0,^T+010.30 AF,58,52,1,1,0,0,Manufactured Time : AF,54,228,1,1,0,0,Expire Time : E	(プリンタの時刻) Manufactured Time: 12:00:00  (10時間30分後の時刻) Expire Time: 22:30:00

### ^Wx - ラベル幅設定

コマンド	^Wx
パラメーター	x=ラベル幅 (mm)
解説	ラベル幅の設定

### ^XGET,CONFIG - ステータス確認

コマンド	^XGET,CONFIG
パラメーター	None
解説	このコマンドを送信するとセルフテストの時同じ内容でプリンタから返信があります。 RS232C又はUSBで使いハイパーターミナルなどをご確認ください。

**^XGET,TPHRESISTANCE - ヘッドチェック \*対応機種のみ**

コマンド	^XGET,TPHRESISTANCE
パラメーター	None
解説	サーマルヘッド切れのチェックを行います。
例	<pre> R0843 is good. R0844 is good. R0845 is good. R0846 is good. R0847 is good. R0848 is good. R0849 is good. R0850 is good. R0851 is good. R0852 is good. R0853 is good. R0854 is good. R0855 is good. R0856 is good. R0857 is good. R0858 is good. R0859 is good. R0860 is good. R0861 is good. R0862 is good. R0863 is good. Total Dot: 864 Bad Dot: 0                 </pre>

**^XSET,ACTIVERESPONSE,n - プリンターステータス**

コマンド	^XSET,ACTIVERESPONSE,n
パラメーター	n=0, ステータスを返さない n=1, ステータスを返す (デフォルト).リボン切れ、ヘッドオープンなどのエラーをパソコンに返します。
解説	<p>リボン切れやヘッドオープンのエラーをパソコンに戻します。</p> <p>01 - ラベル切れ 02 - ラベル詰り 03 - リボン切れ 04 - ヘッドオープン 05 - リワインダーフル 06 - メモリフル 07 - ファイルがありません 08 - ファイル重複エラー 09 - シンタックスエラー 10 - カッターエラー 11 - CFカードエラー</p> <p>このコマンドを実行するには即実行コマンドの許可 (“^XSET,IMMEDIATE,1”) を実行しておく必要があります。</p>

**^XSET,ACTIVEMESSAGE,n - エラーメッセージオートプリント**

コマンド	^XSET,ACTIVERESPONSE,n
パラメーター	n=0, 使用しない n=1, 使用する
解説	<p>下記のエラー発生時、メッセージをプリントアウトして知らせます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• File System Full</li> <li>• File Name Not Found</li> <li>• Duplicate Name</li> <li>• Command Not Recognized</li> <li>• Extended Memory Not Found</li> </ul>

#### ^XSET,ALIAS,string - ネットワーク名設定

コマンド	^XSET,ALIAS,string
パラメーター	Strig:16バイト以内
解説	ネットワーク上のプリンタ名を付けられます。

#### ^XSET,AUTOPHTEST,x - セルフテスト自動印刷

コマンド	^XSET,AUTOPHTEST,x
パラメーター	X=0: OFF X=1: ON
解説	電源投入時にセルフテストを実行

#### ^XSET,BUZZER,n - ビープ音設定

コマンド	^XSET,BUZZER,n
パラメーター	n=0, ビープ音OFF n=1, ビープ音ON
解説	ビープ音のON/OFFを設定します。

#### ^XSET,CODEPAGE,n - コードページ(文字セット)設定

コマンド	^XSET,CODEPAGE,n
パラメーター	n=0, CODEPAGE 850 n=1, CODEPAGE 852 n=2, CODEPAGE 437 n=3, CODEPAGE 860 n=4, CODEPAGE 863 n=5, CODEPAGE 865 n=6, CODEPAGE 857 n=7, CODEPAGE 861 n=8, CODEPAGE 862 n=9, CODEPAGE 855 n=10, CODEPAGE 866 n=11, CODEPAGE 737 n=12, CODEPAGE 851 n=13, CODEPAGE 869 n=14, WINDOWS 1252 n=15, WINDOWS 1250 n=16, WINDOWS 1251 n=17, WINDOWS 1253 n=18, WINDOWS 1254 n=19, WINDOWS 1255 n=20, WINDOWS 1257
解説	コードページの設定

#### ^XSET,ERRORPRINT,n - エラー時の再印刷

コマンド	^XSET,ERRORPRINT,n
パラメーター	n=0: エラー後、エラーラベルを再発行する n=1: エラー後、エラーラベルはスキップする。 n=2: エラー後、印刷をキャンセルする。

#### ^XSET,FEEDCUT,n - フィードカット

コマンド	^XSET,FEEDCUT,n
パラメーター	n=0: フィードボタン後、カットしない。連続紙の場合は、押した分だけラベルがフィードします。 N=1: フィードボタン後、カットします。連続紙の場合も1枚分フィードしカットします。

#### ^XSET,FEEDTYPE,n - フィードボタン設定

コマンド	^XSET,FEEDTYPE,n
パラメーター	n=0: フィードボタン後、空白ラベルを1枚分フィードし、オンラインになります。 n=1: フィードボタン後、前回印刷したラベルを1枚印刷し、オンラインになります。 n=2: フィードボタン後、オンラインになります。

#### ^XSET,CF\_FORMAT,1 - CFカードフォーマット \*対応機種のみ

コマンド	^XSET,CF_FORMAT,1
パラメーター	なし
解説	FAT16でフォーマットされたCFカードは使用することができません。 フォーマット後新しいフォルダが自動的に作成されます。 このフォルダ名を変更しないでください。

**^XSET,IMMEDIATE,n - 即実行コマンドの許可**

コマンド	^XSET,IMMEDIATE,n
パラメーター	n=0, 即実行コマンドの禁止 n=1, 即実行コマンドの許可(デフォルト)
解説	即実行コマンドを使用する場合は常にONにしてください。

**^XSET,KEYBOARD,n - PS2キーボード設定 \* KSW-800プラス/600プラス/PIシリーズのみ**

コマンド	^XSET,KEYBOARD,n
パラメーター	n=0-US 1-UK            5-Italian 2-French        6-Finnish 3-German       7-Dutch 4-Spanish      8-Belgian
解説	LCD用のキーボードの設定

**^XSET,LOCKCMD,xxxx - ロック設定**

コマンド	^XSET,LOCKCMD,xxxx
パラメーター	
解説	

**^XSET,LANGUAGE,n - LCD言語設定 \* KSW-800プラス/600プラス/PIシリーズのみ**

コマンド	^XSET,LANGUAGE,n
パラメーター	n=0-English    5-Simplified Chinese 1-German      6-Traditonal Chinese 2-French       7-Turkish 3-Spanish 4-Italian
解説	LCDの言語設定

**^XSET,MEMORY,n - CFカード/フラッシュメモリ切り替え (DT-2/DT-4は除く)**

コマンド	^XSET,MEMORY,n
パラメーター	n=使用するメモリの指定 n=0, フラッシュメモリ n=1, CFカード *注意:CFカードはFAT16でフォーマットしなくてはなりません。FAT32やNTFSは使用できません。
解説	デフォルトメモリの指定

**^XSET,TOPOFFORM,n – Top of Form**

コマンド	^XSET,TOPOFFORM,n
パラメーター	n=0, Top of Formを使用しない n =1, Top of Formを使用する
解説	Top of Form 機能

**^XSET,UNICODE,n – ユニコード設定 \*対応機種のみ**

コマンド	^XSET,UNICODE,n
パラメーター	n = 0, ユニコード設定なし(デフォルト) n = 2, UTF-8 n = 3, UTF16 Little-Endian n = 4, UTF16 Big-Endian
解説	ユニコードを選択します。 正しく印字を行うにはTrueTypeフォントが必要になります。

**^XSET,USBETHERNET,n – USB / Ethernet ポート切替 \*PIシリーズのみ**

コマンド	^XSET,USBETHERNET,n
パラメーター	n = 0, USB n = 1, Ethernet
解説	無線LANを含むLANボードは同じUSBポートを共有している為、USBポートとLANは同時に使用することができません。 USBかLANボードを使用するか選択してください。

**^XSETCUT,DOUBLECUT,x – ダブルカット**

コマンド	^XSETCUT,DOUBLECUT,x	
パラメーター	x=0, ダブルカットをしない x=オフセット (オフセット <ラベル長さ, 単位:mm)	
解説	1枚のラベルで2回カット動作させます。	
例	<pre> ^XSETCUT,DOUBLECUT,45 ^Q90,3 ^E20 ^P3 ^D1 ^L C0,001,+1,A1 AC,350,144,1,1,1,0,a^C0 AC,350,544,1,1,1,0,a^C0 E                     </pre>	
メモ	糊付きのラベルをカットするとカッターの寿命が極端に短くなります。 糊付きラベルの場合はこの機能は使用しないでください。	

**^XSETCUT,MODE,n - カッターモード \*対応機種のみ**

Syntax	^XSETCUT,MODE,n	
Parameter	n = 0, フルカットモード (デフォルト) n = 1, パーティカルカット * Note: パーティカルカットに対応していない機種はフルカットモードを使用してください。	
Description	カッター動作の選択	

**^XSET,PASSWORD,n,x - フロントパネルロック \*KSW-800プラス/600プラス/PIシリーズのみ**

コマンド	^XSET,PASSWORD,n,x	
パラメーター	n= 0, ロックしない n= 1, パスワードによりロックする。 x= 4桁のパスワード	
解説	セッティングモードに入る際にパスワードが必要になります。	
例	パスワードによるロック: ^XSET,PASSWORD,1,1234  ロックしない ^XSET,PASSWORD,0	パスワードを「1234」に設定

^XSETRTC,ISOWEEKNUM,n – ISOウィーク

コマンド	^XSETRTC,ISOWEEKNUM,n																																																																																																																																																																																	
パラメーター	n=0, ISOウィークを使用しない (デフォルト) n=1, ISOウィークを使用する																																																																																																																																																																																	
解説	ISOウィークの使用の設定を行います。																																																																																																																																																																																	
例	<p>The following figure shows the ISO Week for 1 January 2000 It is week 52 of year 1999, day 6 of the week, and day 1 of year 2000.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1999</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>2000</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> </tr> <tr> <td></td> <td><i>Mon</i></td> <td><i>Tue</i></td> <td><i>Wed</i></td> <td><i>Thu</i></td> <td><i>Fri</i></td> <td><i>Sat</i></td> <td><i>Sun</i></td> <td></td> <td><i>Mon</i></td> <td><i>Tue</i></td> <td><i>Wed</i></td> <td><i>Thu</i></td> <td><i>Fri</i></td> <td><i>Sat</i></td> <td><i>Sun</i></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>W44</td> <td>305</td> <td>306</td> <td>307</td> <td>308</td> <td>309</td> <td>310</td> <td>311</td> <td>W01</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>W45</td> <td>312</td> <td>313</td> <td>314</td> <td>315</td> <td>316</td> <td>317</td> <td>318</td> <td>W02</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>W46</td> <td>319</td> <td>320</td> <td>321</td> <td>322</td> <td>323</td> <td>324</td> <td>325</td> <td>W03</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>W47</td> <td>326</td> <td>327</td> <td>328</td> <td>329</td> <td>330</td> <td>331</td> <td>332</td> <td>W04</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>W48</td> <td>333</td> <td>334</td> <td>335</td> <td>336</td> <td>337</td> <td>338</td> <td>339</td> <td>W05</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>36</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>W49</td> <td>340</td> <td>341</td> <td>342</td> <td>343</td> <td>344</td> <td>345</td> <td>346</td> <td>W06</td> <td>38</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>41</td> <td>42</td> <td>43</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>W50</td> <td>347</td> <td>348</td> <td>349</td> <td>350</td> <td>351</td> <td>352</td> <td>353</td> <td>W07</td> <td>45</td> <td>46</td> <td>47</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>50</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>W51</td> <td>354</td> <td>355</td> <td>356</td> <td>357</td> <td>358</td> <td>359</td> <td>360</td> <td>W08</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>W52</td> <td>361</td> <td>362</td> <td>363</td> <td>364</td> <td>365</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>W09</td> <td>59</td> <td>60</td> <td>61</td> <td>62</td> <td>63</td> <td>64</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>		1999	1	2	3	4	5	6	7	2000	1	2	3	4	5	6	7		<i>Mon</i>	<i>Tue</i>	<i>Wed</i>	<i>Thu</i>	<i>Fri</i>	<i>Sat</i>	<i>Sun</i>		<i>Mon</i>	<i>Tue</i>	<i>Wed</i>	<i>Thu</i>	<i>Fri</i>	<i>Sat</i>	<i>Sun</i>	W44	305	306	307	308	309	310	311	W01	3	4	5	6	7	8	9	W45	312	313	314	315	316	317	318	W02	10	11	12	13	14	15	16	W46	319	320	321	322	323	324	325	W03	17	18	19	20	21	22	23	W47	326	327	328	329	330	331	332	W04	24	25	26	27	28	29	30	W48	333	334	335	336	337	338	339	W05	31	32	33	34	35	36	37	W49	340	341	342	343	344	345	346	W06	38	39	40	41	42	43	44	W50	347	348	349	350	351	352	353	W07	45	46	47	48	49	50	51	W51	354	355	356	357	358	359	360	W08	52	53	54	55	56	57	58	W52	361	362	363	364	365	1	2	W09	59	60	61	62	63	64	65
1999	1	2	3	4	5	6	7	2000	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																			
	<i>Mon</i>	<i>Tue</i>	<i>Wed</i>	<i>Thu</i>	<i>Fri</i>	<i>Sat</i>	<i>Sun</i>		<i>Mon</i>	<i>Tue</i>	<i>Wed</i>	<i>Thu</i>	<i>Fri</i>	<i>Sat</i>	<i>Sun</i>																																																																																																																																																																			
W44	305	306	307	308	309	310	311	W01	3	4	5	6	7	8	9																																																																																																																																																																			
W45	312	313	314	315	316	317	318	W02	10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																																																			
W46	319	320	321	322	323	324	325	W03	17	18	19	20	21	22	23																																																																																																																																																																			
W47	326	327	328	329	330	331	332	W04	24	25	26	27	28	29	30																																																																																																																																																																			
W48	333	334	335	336	337	338	339	W05	31	32	33	34	35	36	37																																																																																																																																																																			
W49	340	341	342	343	344	345	346	W06	38	39	40	41	42	43	44																																																																																																																																																																			
W50	347	348	349	350	351	352	353	W07	45	46	47	48	49	50	51																																																																																																																																																																			
W51	354	355	356	357	358	359	360	W08	52	53	54	55	56	57	58																																																																																																																																																																			
W52	361	362	363	364	365	1	2	W09	59	60	61	62	63	64	65																																																																																																																																																																			
	<b>ISO ウィーク</b>	<b>解説</b>																																																																																																																																																																																
~D1,1,0, 0,0,0 ^XSETRTC,ISOWEEKNUM,1 ^Q50,0,0 ^L Dy4-mn-dd AC,58,32,1,1,0,0,Today is ^D Dwy1 AC,58,132,1,1,0,0,Week of year in one digit: ^D Dwy2 AC,58,194,1,1,0,0,Week of year in two digits: ^D E		日付と時間を設定  時間レイアウト 日付を印字  Print the Week of year in one digit (Week of year in one digit: 52) Print the Week of year in two digits (Week of year in two digits: 52)																																																																																																																																																																																
	<b>ISO ウィーク使用しない</b>	<b>解説</b>																																																																																																																																																																																
~D1,1,0, 0,0,0 ^XSETRTC,ISOWEEKNUM,0 ^Q50,0,0 ^L Dy4-mn-dd AC,58,32,1,1,0,0,NOT ISO week of year (^D) Dwy1 AC,58,132,1,1,0,0,Week of year in one digit: ^D Dwy2 AC,58,194,1,1,0,0,Week of year in two digits: ^D E		Set the date and time  Define the clock type Print the date  Print the Week of year in one digit (Week of year in one digit: 1) Print the Week of year in two digits (Week of year in two digits: 01)																																																																																																																																																																																

^XSETRTC,LANGUAGE,n - 言語レイアウト

コマンド	^XSETRTC,LANGUAGE,n	
パラメーター	n=0-English 1-German 3-Spanish 2-French 4-Italian	
解説	This command can set the language of RTC.	
例	<p>^XSETRTC,LANGUAGE,0 ^Q50,0,0 ^L AC,58,06,1,1,0,0,English Dw1 AC,58,046,1,1,0,0,Day-of-week 3 letter: ^D Dw2 AC,58,098,1,1,0,0,Day-of-week complete: ^D Dwn AC,58,144,1,1,0,0,Day-of-week number: ^D Dm1 AC,58,188,1,1,0,0,Month of year 3 letter: ^D Dm2 AC,58,240,1,1,0,0,Month of year complete: ^D Dmn AC,58,286,1,1,0,0,Month of year number: ^D E</p> <p>^XSETRTC,LANGUAGE,1 ^Q50,0,0 ^L AC,58,06,1,1,0,0,German Dw1 AC,58,046,1,1,0,0,Day-of-week 3 letter: ^D Dw2 AC,58,098,1,1,0,0,Day-of-week complete: ^D Dwn AC,58,144,1,1,0,0,Day-of-week number: ^D Dm1 AC,58,188,1,1,0,0,Month of year 3 letter: ^D Dm2 AC,58,240,1,1,0,0,Month of year complete: ^D Dmn AC,58,286,1,1,0,0,Month of year number: ^D E</p>	<p>English Day-of-week 3 letter: Thu Day-of-week complete: Thursday Day-of-week number: 4 Month of year 3 letter: Mar Month of year complete: March Month of year number: 03</p> <p>German Day-of-week 3 letter: Sam Day-of-week complete: Samstag Day-of-week number: 6 Month of year 3 letter: Nov Month of year complete: November Month of year number: 11</p>

**^XSET,REWINDER,n- リワインダー(巻き取り装置) \* KSW-800プラス/600プラスシリーズのみ**

コマンド	^XSET,REWINDER,n	
パラメーター	n = 0, リワインダーを使用しない n = 1, リワインダーを使用する	
解説	KSW-600シリーズのリワインダーの設定	

**^XSET,SLASHZERO,n - スラッシュ付きゼロ**

コマンド	^XSET,SLASHZERO,n	
パラメーター	n=0, スラッシュなしゼロ, n=1, スラッシュ付きゼロ	
解説	ゼロにスラッシュを付けるか付けないかの設定を行います。	
例	^XSET,SLASHZERO,1 ^Q60,0,0 ^L AA,81,15,1,1,0,0,A0123 AB,81,41,1,1,0,0,B0123 AC,81,71,1,1,0,0,C0123 AD,81,111,1,1,0,0,D0123 AE,81,160,1,1,0,0,E0123 AF,81,230,1,1,0,0,F0123 AG,81,298,1,1,0,0,G0123 AH,81,396,1,1,0,0,H0123 E	B0123 C0123 D0123 E0123 F0123 G0123 H0123

**^XSET,SMARTBACK,n - スマートバックフィード**

コマンド	^XSET,SMARTBACK,n	
パラメーター	n=0, OFF n=1, ON	
解説	この機能はカッター又は剥離機能を使用した際に処理時間を時間を短縮することができます。カッター動作又は剥離待ちの際に、次のラベルを途中まで印字し始めます。カッター動作後又は剥離後残りの部分を印字します。	
例	(剥離機能使用時) ^XSET,SMARTBACK,1 ^Q100,3 ^E30 ^O1 ^P3 ^L R18,18,750,774,10,10 E (カッター使用時) ^XSET,SMARTBACK,1 ^Q100,3 ^E30 ^D1 ^P3 ^L R18,18,750,774,10,10 E	1. 最初のラベルと次のラベルの途中までを印字します。 2. ラベルを取り除くと、次のラベルの途中からと3番目のラベルの途中までを印字します。 3. 2番目のラベルを取り除くと、3番目の残りを印字します。

**^Yb,p,d,s - シリアルポート設定**

コマンド	^Yb,p,d,s	
パラメーター	b: ボーレート (48 or 96 or 19 or 38 or 57 or 11); 48=4800bps; 96=9600bps; 19=19200bps; 38=38400bps; 57=57600bps; 11=115200bps p: パリティ (N, O, E); N=なし; O=odd parity; E=even parity	

	d: データビット (7又は8) s: ストップビット (1又は2)
解説	シリアルポートの通信設定

## コントロールコマンド

### ~B - バージョンの表示(ハイパーターミナル)

コマンド	~B
パラメーター	なし
解説	ハイパーターミナルにファームウェアのバージョンを表示します。

### ~Dm,d,y,h,i,s - 年日時設定

コマンド	~Dm,d,y,h,i,s																																											
パラメーター	m = 月(01~12) d = 日(01~31) y = 年(年下2桁)	h = 時(00~23) i = 分(00~59) s = 秒(00~59)																																										
解説	現在の年日時をプリンタに設定します。																																											
例	~D12,22,04,11,11,11 ^L Dwn AD,182,145,1,1,0,0,^D Dw2 AD,135,186,1,1,0,0,^D Dw1 AD,168,226,1,1,0,0,^D Dmn/dd/y2 AD,126,110,1,1,0,0,^D E	下記は2004年12月のカレンダーです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Sun.</th> <th>Mon.</th> <th>Tue</th> <th>Wed.</th> <th>Thu.</th> <th>Fri.</th> <th>Sat.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>31</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 印字結果 12/22/04 3 Wednesday Wed	Sun.	Mon.	Tue	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
Sun.	Mon.	Tue	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.																																						
			1	2	3	4																																						
5	6	7	8	9	10	11																																						
12	13	14	15	16	17	18																																						
19	20	21	22	23	24	25																																						
26	27	28	29	30	31																																							

### ~En, name, size - グラフィックダウンロード

コマンド	~En, name, size
パラメーター	n = P 又は p: PCXファイル n = B 又は b: BMPファイル name: ファイル名(20バイト以内) size: ファイルサイズ(バイト), 最大512Kb
解説	メモリにモノクロのイメージデータをダウンロードします。ダウンロードが完了するとピープ音が1回鳴ります。同一のファイル名がすでにダウンロードされている場合は、“PEAT FILE NAME”エラーが出て、ダウンロードは中止されます。(P48参照)。

### ~G - グラフィックモード

コマンド	~G
パラメーター	なし
解説	プリンターを受信モードにして、バッファに直接データを送ります。(P46参照)

### ~H,TTF,name,size<CR>data TrueTypeフォントダウンロード

コマンド	~H,TTF,name,size<CR>data
パラメーター	name = フォント名 (使用できる文字:A~Z) size = フォントサイズ(バイト) data: TTFファイル
解説	TrueTypeフォントはLabelPlusでダウンロードします。

~H,TTF\_TABLE,name,size<CR>data - ユニコードテーブル

コマンド	~H,TTF_TABLE,name,size<CR>data
パラメーター	name = フォント名 (使用できる文字:A~Z) size = フォントサイズ(バイト) data: TTFファイル
解説	ユニコードをダウンロードします。

~Jx - ビットマップフォントダウンロード

コマンド	~Jx
パラメーターs	x = キャラクタ;a ~ z 又は A ~ Z; (26キャラクタまで)
解説	通常はLabelPlusによりダウンロードされます。ダウンロードが完了するとピープ音が1回鳴ります。同一のファイル名がすでにダウンロードされている場合は、"PEAT FILE NAME"エラーが出て、ダウンロードは中止されます。
例	外部メモリに"HVR00E1A.SFP"をダウンロードするために、キャラクター名「A」を使用します。
	~JA ; HVR00E1A.SFPをAと定義します。
	COPY HVR00E1A.SFP PRN/B ; DOSモードでコマンドを送信してください。

~Kn - 印字完了信号送信(RS-232)

コマンド	~Kn
パラメーター	n = 0, 使用しない n = 1, 使用する
解説	印字完了の"Y"をRS-232経由でPCLします。

~L,DBASE,x,y - dBase IIIのダウンロード

コマンド	~L,DBASE,x,y data...
パラメーター	x=データベースファイル名 y=データベースサイズ(バイト)
解説	dBase IIIファイルをプリンタにダウンロードします。
例	~L,DBASE,customer,364 ...(Data of customer.dbf)

~L,SERIAL,name,data - シリアルデータダウンロード

コマンド	~L,SERIAL,name,data...
解説	name = シリアルデータ名 data = シリアルデータ
例	シリアルデータをプリンタに設定します。

~MDEL - メモリオールクリア

コマンド	~MDEL
パラメーター	なし
解説	プリンタメモリのオールクリア(アジアフォントは除く)

~MDELn,name - メモリクリア

コマンド	~MDELn,name	
パラメーター	n= D, データベース A, アジアンフォント C, TTFフォント E, ビットマップフォント F, ラベル G, グラフィック S, シリアルデータ T, テキスト B, ユニコードテーブル name: 削除するファイル名 *メモ: アジアンフォント、TTFフォント、ユニコードテーブルはIDを指定してください。	
解説	メモリクリア	
例	~MDELD,customer	Delete "customer" database.
	~MDELG,Bus	The graphic "Bus" will be deleted

~MDIR - メモリ情報取得(ハイパーターミナル)

コマンド	~MDIR	
パラメーター	なし	
解説	メモリ情報を表示します。	
例		

~MGETS,name - シリアルデータ情報(ハイパーターミナル)

コマンド	~MGETS,name	
パラメーター	name= シリアルデータ名	
解説	シリアルデータ情報をハイパーターミナル上に表示します。	
例	(シリアルデータ"new"の情報を表示します。)  ~MGETS,new	

~MSETT,name<CR>nnnnnnnn<data> - テキストファイル保存

コマンド	~MSETT,name<CR>nnnnnnnn<data>	
パラメーター	name= 保存するファイル名 nnnnnnnn= データサイズ (8桁) data= 保存するデータ	
解説	テキストファイルをプリンタに保存します。	

### ~MGETT,name<CR> - 保存ファイル呼び出し

コマンド	~MGETT,name<CR>
パラメーター	name= 呼び出すファイル名
解説	保存されたテキストファイルを呼び出します。
例	<p>“~MSETT, text1&lt;CR&gt;00000015Text file test2”</p> <p>Then use “~MGETT,name&lt;CR&gt;” command to read saved data</p> <p>例: ~MGETT,text1</p> <p>ハイパーターミナル: Text file test2</p>

### ~Px - 最終データ再印刷

コマンド	~Px
パラメーター	x = 1 ~ 32767
解説	最後に印字したラベルを指定枚数再印刷します。

### ~Q±x - オフセット調整

コマンド	~Q±x
パラメーター	X=-100 ~ +100
解説	「+」で上へ移動し、「-」で下に移動します。

### ~Rx - 180° 回転

コマンド	~Rx
パラメーター	x=ラベル幅(mm)
解説	180° 回転して印字を行います。(Pエラー! ブックマークが定義されていません。). 元の方向に戻すにはxの値をプリンタの仕様の最大幅より大きく設定してください。

### ~S,CHECK - ステータス応答コマンド(ハイパーターミナル)

コマンド	~S,CHECK
パラメーター	なし
解説	<p>ハイパーターミナルにステータスを“aa,nnnn&lt;CR&gt;&lt;LF&gt;”の形式で返します。</p> <p>aa = ステータス情報:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>00 - オンライン</li> <li>01 - 紙なし</li> <li>02 - 紙詰まり/センサーエラー</li> <li>03 - リボンなし</li> <li>04 - ヘッドオープン</li> <li>05 - リワンインダーフル</li> <li>06 - メモリーフル</li> <li>07 - ファイル名なし</li> <li>08 - ファイル名重複</li> <li>09 - コマンドエラー</li> <li>20 - ポーズ</li> <li>21 - セットアップモード中</li> <li>22 - キーボードモード中</li> <li>50 - 印字中</li> </ul> <p>nnnn = 残りラベル数(00000~99999)</p> <p>*注意: このコマンドを実行するには“^XSET,IMMEDIATE” (即実行コマンドの許可)をONにしてください。</p>

**~S,DUMP - ダンプモード \*対応機種のみ**

コマンド	~S,DUMP
パラメーター	None
解説	プリンタに送信されたコマンドをラベルに印字して確認することができます。 FEEDキーを押すことによりダンプモードを解除することができます。

**~S,n - コントロールパネル操作**

コマンド	~S,n
パラメーター	n = FEED n = PAUSE n = UNPAUSE
解説	このコマンドはキーを押すのと同じ動作をします。

**~T - ヘッドテスト**

コマンド	~T
パラメーター	なし
解説	ヘッド切れを検査するためのラベルを印字します。(P51参照)

**~V - プリンタ情報印字**

コマンド	~V
パラメーター	なし
解説	プリンタの設定情報等を印字します。

**~Xn - メモリ情報印字**

コマンド	~Xn
パラメーター	n = 1, ラベル名と空容量の印字 n = 2, グラフィック名と空容量の印字 n = 3, ビットマップフォントと空容量の印字 n = 4, ラベル名、グラフィック名、フォント名と空容量の印字 n = 5, アジアンフォント名と空容量の印字
解説	空き容量の印字 (バイト)

**~X7 - データベース情報の印字**

コマンド	~X7
パラメーター	なし
解説	データベース情報の印字

**~X8 - シリアルデータ情報の印字**

コマンド	~X8
パラメーター	なし
解説	シリアルデータ情報の印字

**~Z - プリンタリセット**

コマンド	~Z
パラメーター	なし
解説	プリンタをリセットします。

## ラベルフォーマットコマンド

### AUTOFR - オートフォーム \*対応機種のみ

コマンド	AUTOFR
パラメーター	None
解説	“^Fname”コマンドを使用して“AUTOFR”というラベル名でダウンロードすると、プリンタの電源を入れると同時に印字枚数指定画面に移行しすぐに印字を開始できます。

### At, x, y, x\_mul, y\_mul, gap, rotation, data - テキストフィールド

コマンド	At, x, y, x_mul, y_mul, gap, rotation, data																																										
パラメーター	<p>t: フォント種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>フォント</th> <th>ポイント</th> <th>フォント種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>6</td><td>CG Triumvirate, Code page 850</td></tr> <tr><td>B</td><td>8</td><td>CG Triumvirate, Code page 850</td></tr> <tr><td>C</td><td>10</td><td>CG Triumvirate, Code page 850</td></tr> <tr><td>D</td><td>12</td><td>CG Triumvirate, Code page 850</td></tr> <tr><td>E</td><td>14</td><td>CG Triumvirate, Code page 850</td></tr> <tr><td>F</td><td>18</td><td>CG Triumvirate, Code page 850</td></tr> <tr><td>G</td><td>24</td><td>CG Triumvirate, Code page 850</td></tr> <tr><td>H</td><td>30</td><td>CG Triumvirate, Code page 850</td></tr> <tr><td>I</td><td colspan="2">16x26 dots for US ASCII 8 bit</td></tr> <tr><td>K</td><td colspan="2">OCR-B font</td></tr> <tr><td>L</td><td colspan="2">OCR-A font</td></tr> <tr><td></td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>t = Zn</td><td colspan="2">アジアンフォント 1~4</td></tr> </tbody> </table> <p>x: 水平位置(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット)  y: 垂直位置(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット)  x_mul: 横倍角(8倍まで)  y_mul: 縦倍角(8倍まで)  gap: 文字間隔(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット)  rotation: 回転(ASCII:0-3, アジアンフォント:0-7)  0) 0° 1) 90° 2) 180° 3) 270° 4) 縦0° 5) 縦90° 6) 縦180° 7) 縦270°  data: 印字データ(最大239文字)</p>	フォント	ポイント	フォント種	A	6	CG Triumvirate, Code page 850	B	8	CG Triumvirate, Code page 850	C	10	CG Triumvirate, Code page 850	D	12	CG Triumvirate, Code page 850	E	14	CG Triumvirate, Code page 850	F	18	CG Triumvirate, Code page 850	G	24	CG Triumvirate, Code page 850	H	30	CG Triumvirate, Code page 850	I	16x26 dots for US ASCII 8 bit		K	OCR-B font		L	OCR-A font					t = Zn	アジアンフォント 1~4	
フォント	ポイント	フォント種																																									
A	6	CG Triumvirate, Code page 850																																									
B	8	CG Triumvirate, Code page 850																																									
C	10	CG Triumvirate, Code page 850																																									
D	12	CG Triumvirate, Code page 850																																									
E	14	CG Triumvirate, Code page 850																																									
F	18	CG Triumvirate, Code page 850																																									
G	24	CG Triumvirate, Code page 850																																									
H	30	CG Triumvirate, Code page 850																																									
I	16x26 dots for US ASCII 8 bit																																										
K	OCR-B font																																										
L	OCR-A font																																										
t = Zn	アジアンフォント 1~4																																										
解説	テキストフィールドの印字を行います。																																										

### AT,x,y,w,h,g,r,d,m,data - ビルドインTrueTypeフォント

コマンド	AT,x,y,w,h,g,r,d,m,data
パラメーター	<p>x: 水平位置(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット)  y: 垂直位置(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット)  w: フォント幅(8~2000ドット)  h: フォント高(8~2000ドット)  g: 文字間隔(0~200ドット)  r: 回転(0-3)  0) 0° 1) 90° 2) 180° 3) 270°  d: DType → 0: ASCII A~Z: ユニコード  m: m = 0 → width/height AspectRatio mode  m = 1 → 等倍モード (refer to Further Information)  data: 印字データ</p>
解説	Print built-in True Type Font (TTF).

Further Information	In width/height AspectRatio mode (m = 0): When the width (w) and the height (h) of TTF are equal, the printing result of TTF will be exactly the same with Windows font. There is a formula to calculate the Windows font size from TTF size: $TTFheightsize = WindowsFontsize * dpi / 72$ For 例, if user want to print Windows font 72pt on 203dpi printer, then the TTFheightsize = $72 * 203 / 72 = 203$ . And the TTFwidthsize should be equal to TTFheightsize, which is 203. As a result, when the width and height of TTF both are 203, the printout will be the same with Windows font 72pt.
	In Average width mode (m = 1): The height in dot is calculated the same as width/height AspectRatio mode, but the width is the average width in dots. If width=0, a 1:1 aspect ratio font is rendered.

**【メモ】**

For conversion: 1mm = 8 dots when printing with 203dpi printer; 1mm = 12 dots when printing with 300dpi printer.

**ATt,x,y,w,h,g,r,d,m,data – Print downloaded true type font**

コマンド	<b>ATt,x,y,w,h,g,r,d,m,data</b>
パラメーター	t: TTF type, accepted values: from A to Z x: 水平位置(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット) y: 垂直位置(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット) w: フォント幅(8~2000 ドット) h: フォント高さ(8~2000 ドット) g: 文字間隔(0~200 ドット) r: 回転(0-3) 0) 0° 1) 90° 2) 180° 3) 270° d: タイプ → 0: ASCII A~Z: ユニコード m: m = 0 → width/height AspectRatio mode m = 1 → Average width mode (refer to Further Information) data: Data to be printed
解説	Print downloaded True Type Font.
Further Information	In width/height AspectRatio mode (m = 0): When the width (w) and the height (h) of TTF are equal, the printing result of TTF will be exactly the same with Windows font. There is a formula to calculate the Windows font size from TTF size: $TTFheightsize = WindowsFontsize * dpi / 72$ For 例, if user want to print Windows font 72pt on 203dpi printer, then the TTFheightsize = $72 * 203 / 72 = 203$ . And the TTFwidthsize should be equal to TTFheightsize, which is 203. As a result, when the width and height of TTF both are 203, the printout will be the same with Windows font 72pt.  In Average width mode (m = 1): The height in dot is calculated the same as width/height AspectRatio mode, but the width is the average width in dots. If width=0, a 1:1 aspect ratio font is rendered.

**Bt,x,y,narrow,wide,height,rotation,readable,data – バーコード**

コマンド	<b>Bt,x,y,narrow,wide,height,rotation,readable,data</b>			
パラメーター	t: バーコード種			
	type	Barcode	type	Barcode
	A	Code 39	P	Code 93
	A2	Code 39 with check digit	Q	Code 128 (auto subset A/B/C)
	B	EAN 8	Q2	Code 128 (subset A/B/C)
	C	EAN 8 – Add ON 2	R	UCC 128
	D	EAN 8 – Add ON 5	S	Post NET
	E	EAN 13	T	DUN 14 ONLY 90
	F	EAN 13 – Add ON 2	U	EAN 128
	G	EAN 13 – Add ON 5	V	RPS 128
	H	UPC A	W	China Postal Code

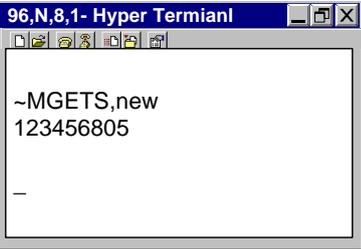
I	UPC A - Add ON 2	X	HIBC
J	UPC A - Add ON 5	Y	Plessey
K	UPC E	Z	I 2 of 5 with Shipping Bearer Bars
L	UPC E - Add ON 2	1	UCC/EAN-128 K-MART
M	UPC E - Add ON 5	2	UCC/EAN-128 RANDAN
N	I 2 of 5	3	Telepen
N2	I 2 of 5 with check digit	4	FIM
O	Codabar		

x: 水平位置(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット)  
y: 垂直位置(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット)  
narrow (x dimension): narrow bar from 1 ~ 10 dots(0.125 ~ 1.25 mm)  
\*\*DUN 14 narrow setting from 5 ~ 8 dots; UPC/EAN narrow setting from 2 ~ 4 dots \*\*  
wide: wide bar from 2 ~ 30 dots(0.25 ~ 0.5 mm); \*\*CODE 39, 93, CODABAR & I 2 of 5\*\*  
height: Barcode height in dots (24 ~ 1200 dots)  
rotation: rotation of barcode (0 ~ 3)  
0) 0° 1) 90° 2) 180° 3) 270°  
readable:  
0 - human readable off 3 - below barcode, centered 6 - above right  
1 - below barcode, left 4 - above barcode, centered  
2 - above barcode, left 5 - below right  
data: バーコードデータ

**B5n,x,y,narrow,segment,height,rotation,readable,data - GS1 Databar \*対応機種のみ**

Syntax	<b>Bt,x,y,narrow,wide,height,rotation,readable,data</b>			
Parameter	n = GS1 Databarの種類を設定します。			
	"n"	GS1 Databar type	"n"	GS1 Databar type
	0	GS1 Databar Omnidirectional	4	GS1 Databar Limited
	1	GS1 Databar Truncated	5	GS1 Databar Expanded
	2	GS1 Databar Stacked	6	GS1 Databar Expanded Stacked
	3	GS1 Databar Stacked Omnidir.		
x = 水平方向の位置(ドット) (200DPI:1mm=8ドット 300DPI:1mm=12ドット) y = 垂直方向の位置(ドット) (200DPI:1mm=8ドット 300DPI:1mm=12ドット) narrow (x dimension) = 細バーのバー幅本数 1 ~ 10 dots(0.125 ~ 1.25 mm) segment = データセグメント幅 (2 ~ 22) この設定はGS1 Databar Expanded Stackedのみに適応されま す。データ長がセグメント幅を超えると、バーコードは自動的にデータが収まるようにバーコード ラインを追加します。バーコードラインは最大11ラインです。 height = 常に「0」です。この項目は変更できません。 rotation = 回転 (0 ~ 3) 0) 0° 1) 90° 2) 180° 3) 270° readable = 可視コードの有無 0 - 可視コードなし; 1 - 可視コードあり data = バーコードデータ(固定データ、日付(^D)、時間(^T)、連番 (^Cx)、可変(^Vxx)を含みます。)				

### C#x,y,±value,z - シリアルデータ印字

コマンド	C#x,y,±value,z	
パラメーター	x= counter index y= シリアルデータ名 ±value= 増減値(12桁まで) z='0'~'9' or 'B' 数値, 'A' for 英字, 'C' for 0~9,A~Z 英数字	
解説	シリアルデータ印字	
例	~L,SERIAL,new,123456795	シリアルデータをプリンターにセットする
	Turn printer off Turn printer on. Print again. ^Q60,0,0 ^P5 ^L C#0,new,+1,0 AG,50,137,1,1,0,0,^C0 E	印字結果: 123456800 123456801 123456802 123456803 123456804
	~MGETS,newでハイパーターミナルで確認することができます。	

### Cx,ys,±value,prompt - 連番設定

コマンド	Cx,ys,±value,prompt	
パラメーター	x: 0-9(10グループまで), 3グループまで組み合わせ可能 y: 連番の種類 y = なし、数字(0~9) y = A, 英数字(0~9,A~F) y = C, 0~9, A~Z s: スタート値(13桁まで) ±value: 増減値(12桁まで) prompt: prompt of serial variable (up to 20 characters)	
解説	連番印字 (P46参照)	
例	^Q50,0,0 ^W100 ^H10 ^P3 ^L Dy2-me-dd Th:m:s C0,000,+1,Prompt C1, 1,+1,Prompt C2,AEE,+1,Prompt1 C3,CZYY,+1,Prompt2 AC,80,10,1,1,0,0,decimal with leading zeros: ^C0 AC,80, 80,1,1,0,0,decimal with leading spaces: ^C1 AC,80,160,1,1,0,0,hexadecimal: ^C2 AC,80,240,1,1,0,0, 0~9 A~Z: ^C3 E	

		<table border="1"><tr><td data-bbox="1061 107 1396 291">decimal with leading zeros: 002 decimal with leading spaces: 3 hexadecimal: F0 0~9 A~Z: ZZ0</td></tr><tr><td data-bbox="1061 313 1396 504">decimal with leading zeros: 001 decimal with leading spaces: 2 hexadecimal: EF 0~9 A~Z: ZYZ</td></tr><tr><td data-bbox="1061 526 1396 716">decimal with leading zeros: 000 decimal with leading spaces: 1 hexadecimal: EE 0~9 A~Z: ZYY</td></tr></table>	decimal with leading zeros: 002 decimal with leading spaces: 3 hexadecimal: F0 0~9 A~Z: ZZ0	decimal with leading zeros: 001 decimal with leading spaces: 2 hexadecimal: EF 0~9 A~Z: ZYZ	decimal with leading zeros: 000 decimal with leading spaces: 1 hexadecimal: EE 0~9 A~Z: ZYY
decimal with leading zeros: 002 decimal with leading spaces: 3 hexadecimal: F0 0~9 A~Z: ZZ0					
decimal with leading zeros: 001 decimal with leading spaces: 2 hexadecimal: EF 0~9 A~Z: ZYZ					
decimal with leading zeros: 000 decimal with leading spaces: 1 hexadecimal: EE 0~9 A~Z: ZYY					



	AC,228,446,1,1,0,0,month of the year as a complete name AC,228,532,1,1,0,0,day-of-week as number value AC,228,40,1,1,0,0,Date layout AC,228,274,1,1,0,0,Date layout E		
--	---	--	--

### E - フォーマットコマンド終了/印字開始

コマンド	E
パラメーター	なし
解説	フォーマットコマンドを終了し印字を行います。

### FILEDB,OPEN,name - オープンデータベース

コマンド	FILEDB,OPEN,name
パラメーター	name=データベース名
解説	データベース印字
例	FILEDB,OPEN,customer

### FILEDB,MOVE,n - レコード移動

コマンド	FILEDB,MOVE,n
パラメーター	n: レコード指定 n = 指定レコード n = FIRST, 最初のレコード n = LAST, 最後のレコード n = NEXT, 次のレコード n = PRIOR, 前のレコード
解説	データベースから特定のレコードを選びます。
例	FILEDB,MOVE,3 3番目のレコード FILEDB,MOVE,FIRST 最初のレコード FILEDB,MOVE,NEXT 次のレコード

### FILEDB,FIND,x,y - データベース検索

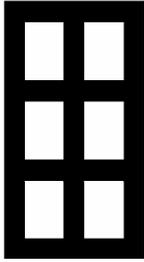
コマンド	FILEDB,FIND,x,y
パラメーター	x=フィールド名 y=検索キーワード
解説	データベースから特定のデータを検索し印字します。
例	データベース“customer”をダウンロードし Find Mary'sを探します。 ^Q60,0,0 ^P1 ^L FILEDB,OPEN,customer V00,10,Prompt0 V#LINKDB,PHONE,V00 FILEDB,FIND,NAME,Mary AC,79,120,1,1,0,0, Mary's phone: ^V00 E

### Gwxxx - グラフィックコマンド

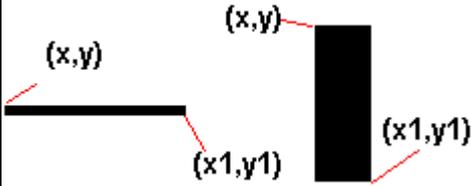
コマンド	Gwxxx
パラメーター	wxxx... w: イメージファイルのバイト数 xxx...: イメージデータ
解説	このコマンドは~Gのサブコマンドになり、バイナリーデータで送信する必要があります。Wはイメージデータのバイト数を表します。For 例, if the image file is 50 bytes, the command is G2xxx . (2:

ASCII is 50 decimal)
----------------------

Hx,y,col\_count,row\_count,col\_width,row\_width,line\_width - テーブル

コマンド	Hx,y,col_count,row_count,col_width,row_width,line_width	
パラメーター	x: 水平方向(ドット) y: 垂直方向(ドット) col_count:行数 row_count:列数 col_width:行幅 row_width:列幅 line_width:線幅	
解説	表を描きます。	
例	H20,20,2,3,20,30,10	

La,x, y, x1, y1 - ライン

コマンド	La,x, y, x1, y1	
パラメーター	a= o, 上書きライン(他のフィールドと重なった場合、上にラインを作ります) a = e, 白抜きライン(他のフィールドと重なった場合、重なった部分が反転します) x: 水平方向開始位置 (ドット; 1mm= 8ドット) y: 垂直方向開始位置 (ドット) x1: 水平方向終了位置 (ドット) y1: 垂直方向終了位置 (ドット)	
解説	*メモ: 斜めの線は描けません	

Mx, y, sno, nos, mode, ccode, zip, class, rotation, message - マキシコード

コマンド	Mx, y, sno, nos, mode, ccode, zip, class, rotation, message	
パラメーター	x: 水平位置 (単位 : ドット) y: 垂直位置 (単位 : ドット) sno : シンボルナンバー:1 ~ 8 nos : シンボル数:1 ~ 8 mode : モード: 2, 3, 4 or 6. Ccode : 国コード(3桁) zip : 郵便番号 class : サービスクラス(3桁) rotation : 回転 (0 : 0°) 0) 0° 1) 90° 2) 180° 3) 270° message : バーコードデータ(1 ~ 84キャラクタ )	
解説	マキシコードの印字	

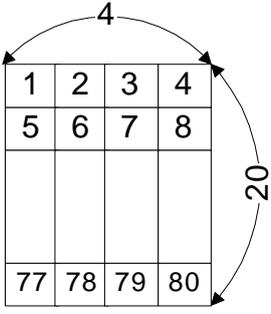
Px,y,w,h,r,c,ec,len - PDF 417

コマンド	Px,y,w,h,r,c,ec,len Data	
パラメーターs	x: 水平位置 (単位 : ドット) y: 垂直位置 (単位 : ドット) w: 幅 h: 高さ r: 列数(3-90)0の場合は全ての列数をカウントします。 c: 行数(1-30)0の場合は全ての行数をカウントします。 ec: エラー訂正レベル: 0-8 len:データ長(バイト CRなどを含まず) Data: バーコードデータ(最大1024キャラクタ)	
解説	PDF417の印字	

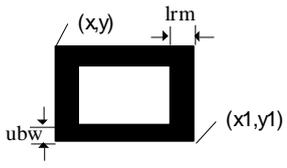
PCx,y,w,h,r,c,ec,max\_len,rotation - PDF 417(可変長)

コマンド	PCx,y,w,h,r,c,ec,max_len,rotation	
パラメーター	x: 水平位置 (単位 : ドット) y: 垂直位置 (単位 : ドット) w: 幅 h: 高さ r: 列数(3-90)0の場合は全ての列数をカウントします。 c: 行数(1-30)0の場合は全ての行数をカウントします。 ec: エラー訂正レベル: 0-8 max_len :最大データ長(バイト CRなどを含まず) Data: バーコードデータ(最大1024キャラクタ) rotation=回転 0) 0° 1) 90° 2) 180° 3) 270°	
解説	PDF417のデータ長を調整できます。	
例	^Q50,0,0 ^L PC141,104,3,5,3,3,50 &*0123456789 Line2 Line3 9876543210&* E	(Data read from CCD: 0123456789[ CR][ LF]Line2[ CR][ LF]Line3[ CR ][ LF]9876543210) 

Qx, y, width, height - パターン

コマンド	Qx, y, width, height Data...	
パラメーターs	x: 水平位置 (単位 : ドット) y: 垂直位置 (単位 : ドット) width = 幅 (単位 : バイト) height = 高さ (単位 : バイト) data = 幅 x 高さ	
解説		Data send out 1 2 3 4 .....77 78 79 80  width = 4 ; height = 20 (data length: 4x20 = 80)  (Pエラー! ブックマークが定義されていません。参照)

Rx, y, x1,y1, lrw, ubw - 四角形

コマンド	Rx, y, x1,y1, lrw, ubw	
パラメーター	x: 水平方向開始位置(ドット) y: 垂直方向開始位置(ドット) x1: 水平方向終了位置(ドット) y1: 垂直方向終了位置(ドット) lrw: 左右ボーダライン幅(ドット) ubw: 上下ボーダライン幅(ドット)	
解説	四角形を描きます (Pエラー! ブックマークが定義されていません。参照)	

### Th|m|s - 時間フォーマット

コマンド	Th m s
パラメーター	h = 時(2桁, 00 ~ 23) m = 分(2桁, 00 ~ 59) s = 秒(2桁, 00 ~ 59)   = 区切り記号
解説	時間のフォーマットを定義します。(Pエラー! ブックマークが定義されていません。参照)

### V#ADD,name,size,prompt - 変数の定義

コマンド	V#ADD,name,size,prompt
パラメーターs	name= 変数名 size= キャラクタ数 prompt= プロンプト
解説	変数名を定義します。
例	<pre> ~MDELf,aaa ^Faaa ^Q50,0,3 ^AD ^L V#ADD,weight,10,Weight V#ADD,date,15,Date AE,7,46,1,1,0,0,Weight is ^(weight) AE,7,86,1,1,0,0,Date is ^(date) E  ^Kaaa 16 kg 11/26/2004 E ~P1                     </pre> <p>Weight is 16 kg Date is 11/26/2004</p>

### V#ADDCHKSUM,x - チェックデジットの追加(モジュラス10)

コマンド	V#ADDCHKSUM,x
パラメーターs	x= variable
解説	Add the modulus 10 check code to x
例	<pre> Add modulus 10 check code to V00 Print result  ~MDELf,test ^Ftest ^Q60,0,0 ^L V00,16,Prompt V#ADDCHKSUM,V00 AE,47,57,1,1,0,0,Date:~V00 E  ^Ktest 111222333 E ~P1                     </pre> <p>Enter Variable value 111222333</p> <p>Print result 1112223332</p>

### V#LINKDB,x,y - データベースからの可変定義

コマンド	V#LINKDB,x,y
パラメーター	x= データベースフィールド名

	y= 可変フィールド
解説	このコマンドを使う前に、dbaseファイルをオープンしてリンクできる状態にしておかないといけません。
例	P54参照

### V#OPx,p1,p2,p3 - 可変フィールドの計算

コマンド	V#OPx,p1,p2,p3	
パラメーターs	x=+, -, *, /, % ; p1,p2,p3= 可変フィールド x=+, p1=p2+p3 x=-, p1=p2-p3 x=*, p1=p2*p3 x=/, p1=p2/p3 x=%, p1=p2%p3	
解説	計算を行います。(P52参照)	
例	V#OP+,V00,V01,V02 V#OP-,V00,V01,V02 V#OP*,V00,V01,V02 V#OP/,V00,V01,V02 V#OP%,V00,V01,V02	V00=V01+V02 V00=V01-V02 V00=V01*V02 V00=V01/V02 V00=V01%V02

### V#RENAME,name,x - 可変リネーム

コマンド	V#RENAME,name,x	
パラメーターs	name= 新しい可変名(最大8キャラクタ) x= 可変名	
解説	可変フィールドのリネーム	
例	~MDELf,aaa ^Faaa ^Q50,0,3 ^AD ^L V00,10,Prompt V01,10,Prompt V#RENAME,weight,V00 V#RENAME,date,V01 AE,7,46,1,1,0,0,Weight is ^(weight) AE,7,86,1,1,0,0,Date is ^(date) E  ^Kaaa 16 kg 11/20/2004 E ~P1	Weight is 16 kg Date is 11/20/2004

### V#SET,UNPROMPT,x - プロンプト無し可変フィールド

コマンド	V#SET,UNPROMPT,x	
パラメーターs	x= variable	
解説	プロンプト無しで可変フィールドをセットすることができます。	
例	V#OP+,V00,V01,V02 V#SET,UNPROMPT,V00	Use doesn't need to input the value of V00

### V#STRCPY,x,y - 可変フィールドのコピー

コマンド	V#STRCPY,x,y	
パラメーターs	x= コピー先可変フィールド名	

	y= コピー元可変フィールド名	
解説	可変フィールドの全データをコピーします。	
例	V#STRCPY,V00,V01	Copy all of V01 data to V00

### V#STRSUB,x,y,first,length - 可変データ部分コピー

コマンド	V#STRSUB,x,y,first,length	
パラメーター	x= コピー先可変フィールド名 y= コピー元可変フィールド名 first= スタート位置 length= コピーキャラクタ数	
解説	可変データの部分コピー	
例	年月日をそれぞれコピーします  ~MDELFL,test ^Ftest ^Q60,0,0 ^L V00,16,PromptV0 V01,16,PromptV1 V02,16,PromptV2 V03,16,PromptV2 V#STRSUB,V01,V00,5,2 V#STRSUB,V02,V00,8,2 V#STRSUB,V03,V00,0,4 V#SET,UNPROMPT,V01 V#SET,UNPROMPT,V02 V#SET,UNPROMPT,V03 AE,47,57,1,1,0,0,Date:^V00 AE,38,115,1,1,0,0,Month:^V01 AE,38,155,1,1,0,0,Day:^V02 AE,38,205,1,1,0,0,Year:^V03 E  ^Ktest 2005/01/31 E ~P1	印字結果:  Date:2005/01/31 Month:01 Day:31 Year:2005

### Vt, x, y, x\_mul, y\_mul, gap, rotation, data - ビットマップフォントダウンロード

コマンド	Vt, x, y, x_mul, y_mul, gap, rotation, data	
パラメーター	t: フォント名(A ~ Z) x: 水平位置(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット) y: 垂直位置(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット) x_mul: 横倍角(8倍まで) y_mul: 縦倍角(8倍まで) gap: 文字間隔(ドット)(203dpi: 1mm = 8ドット/ 300dpi: 1mm=12ドット) rotation: 回転(ASCII:0-3, アジアンフォント:0-7) 0) 0° 1) 90° 2) 180° 3) 270° 4) 縦0° 5) 縦90° 6) 縦180° 7) 縦270° data: 印字データ(最大239文字)	
解説	ビットマップフォントのダウンロード	
例	VA,5,10,1,1,1,0,data	The name of font "A"

### Vxx, length, prompt - 可変変数

コマンド	Vxx, length, prompt	
パラメーターs	xx = 可変コード(00 ~ 99) length = 文字数(98キャラクタまで) prompt = プロンプト(最大60キャラクタ)	
解説	変数を定めます(P50)	

### Vxx,length,prompt,jnl - 可変データの編集

コマンド	Vxx,length,prompt,jnl
パラメーター	xx = 可変コード length= 可変データの長さ prompt= プロンプト j=オプション n=(左寄せ), c(中央寄せ), r(右寄せ) l=全長(mm)
解説	可変データの編集

### Wx,y,mode,type,ec,mask,mul,len,roatae - QRコード マイクロQRコード\*対応機種のみ

Syntax	Wx,y,mode,type,ec,mask,mul,len,roatae	
Parameters	<p>x = 水平位置(ドット) y = 垂直位置(ドット) mode = モード(1 ~ 5)              1 → 数字モード              2 → 英数字モード              3 → 8ビットバイナリーモード              4 → 漢字モード              5 → 混在モード          type = バーコードタイプ (1 ~ 3)              1 → モデル1 (オリジナル)              2 → モデル2(アドバンス)              3 → マイクロQRコード(対応機種のみ)          ec = エラー訂正レベル(L、M、Q、H)              L → Low              M → Medium              Q → Medium high              H → High          mask = マスキングファクター (0 ~ 7 or 8 for auto).              マイクロQRの場合は必ず「0」を指定してください。          mul = セルサイズ (1 ~ 8)          len = データ長(CRやLFを含む)          roatae = 回転 (0 ~ 3)                  0) 0°   1) 90°   2) 180°   3) 270°</p>	
Description	Print QR-code by setting.	
Example	<p>Q50,0,0 ^L W10,10,2,1,L,8,10,36,0 0123456789ABCDEFGHIJKLMNQRSTUWXYZ Z E</p>	<p>Data mode: 2 Model type: 1 Error level: L Masking factor: 8 Multiple:10 Data length: 36</p> 

### Xx, y, z, data - データマトリックス

コマンド	Xx, y, z, data
パラメーターs	x: 水平位置(ドット) y: 垂直位置(ドット) z: セルサイズ

	data: バーコードデータ (500まで)
解説	P45参照

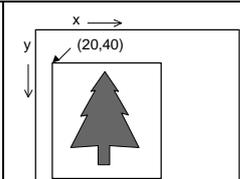
### XRbX,y,enlarge,rotation,length<CR>data – Print DataMatrix Code\*対応機種のみ

Syntax	XRbX,y,enlarge,rotation,length<CR> data
Parameters	x = Horizontal start position of barcode (unit: dots). y = Vertical start position of barcode (unit: dots). enlarge = Enlarge the DataMatrix Code 1~8 times (horizontally and vertically). rotationR = rotation of barcode (0 ~ 3) 0) 0°   1) 90°   2) 180°   3) 270° length = data length (unit: bytes). data = bar code data.
Description	Print DataMatrix code. (refer to page45)

### XRbX,y,enlarge,rotationR,length<CR>data – Print Rectangular DataMatrix Code\*対応機種のみ

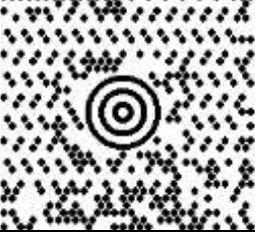
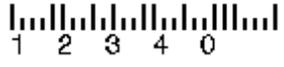
Syntax	XRbX,y,enlarge,rotationR,length<CR> data
Parameters	x = Horizontal start position of barcode (unit: dots). y = Vertical start position of barcode (unit: dots). enlarge = Enlarge the DataMatrix Code 1~8 times (horizontally and vertically). rotationR = rotation of barcode (0R ~ 3R) 0R) 0°   1R) 90°   2R) 180°   3R) 270° length = data length (unit: bytes). data = bar code data.
Description	Print rectangular DataMatrix code. (refer to page45)

### Yx, y, name – グラフィック

コマンド	Yx, y, name
パラメーター	x: 水平方向の位置 (ドット) y: 垂直方向の位置 (ドット) name: グラフィック名
解説	プリンタにダウンロードされているグラフィック(P48参照)
	例: ファイル名“Graphic1”をY20, 40の位置に 印字します。 

# サンプル

## バーコードサンプル

CODE	SAMPLE	CODE	SAMPLE
Code 39	 CODE39	UPC E Add on 2	 0 234567 3 12
EAN 8	 1234 5670	UPC E Add on 5	 0 234567 3 12345
EAN 8 Add on 2	 1234 5670 12	I 2 of 5	 4321
EAN 8 Add on 5	 1234 5670 12345	CODABAR	 ABCD
EAN 13	 1 234567 890128	Code 93	 CODE 93
EAN 13 Add on 2	 1 234567 890128 12	Code 128	 CODE 128
EAN 13 Add on 5	 1 234567 890128 12345	EAN 128	 EAN 128
UPC A	 1 23456 78901	MAXICODE	
UPC A Add on 2	 1 23456 78901 2 12	PDF 417	
UPC A Add on 5	 1 23456 78901 2 12345	UPC E	 0 234567 3
DataMatrix Code		QR Code	
UCC128	 (12) 3 4567890 123456789 0	DUN 14	 1 22 45678 90123 1
POST NET	 1 2 3 4 0	RPS128	 1234567890123456789017

## 使用例

### ラベル設計方法:

ラベルを作成するには以下の順番どおりコマンドを組み合わせなくてはなりません。

コントロールコマンド	
セットアップコマンド	
^L	^Lはラベルフォーマットコマンドのスタート記号
ラベルフォーマットコマンド	ラベルフォーマットコマンドは「^L」から「E」の間に記述してください。
E	

\*\* コントロール/セットアップコマンドはラベルフォーマットエリアに記述しても効果はありません。

### サンプル:

次のサンプルはEAM8を印字する例です。コマンドはテキストファイルで書かれています。どんな言語であれテキスト形式で出力することで、プリンタを動作させることができます。

以下がコマンドになります。(ファイル名をEX1.txtとする)

コマンド	解説
^Q25,3	ラベル高さ 25mm, ギャップ 3mm
^W32	ラベル幅 32mm
^H10	濃度 10
^S6	印字スピード 6インチ/秒
^P1	印字枚数 1
^E10	ラベル送り停止位置 10 mm
^C1	コピー数 1
^O0	剥離機能OFF
^R0	左余白 0ドット
^D0	カッター機能OFF
^L	ラベルフォーマットスタート記号
BB,42,39,2,5,100,0,1,1234567	バーコード指定 EAN8 バーコードデータ 1234567
E	ラベルコマンド終了記号

MS-DOSにてパラレルポートに送信:

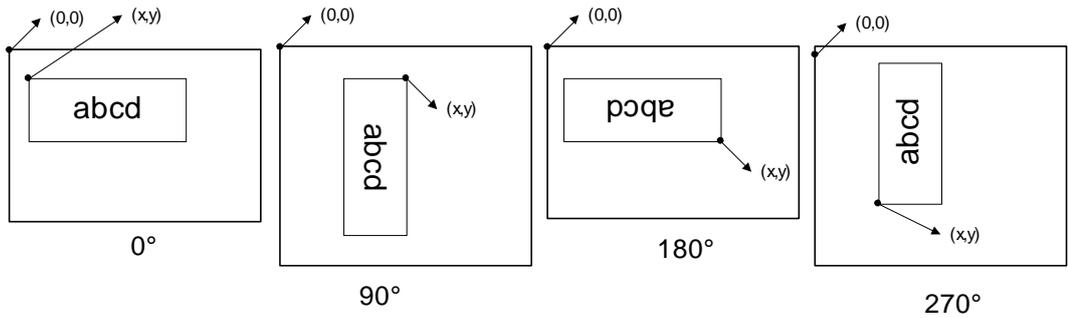
```
C:¥>COPY EX1.TXT PRN┘
```

MS-DOSにてシリアルポートに送信:

```
C:¥>MODE COM1 96,N,8,1
```

```
C:¥>TYPE EX1.TXT >> COM1
```

### X 軸 Y 軸の設定:



### テキストフィールド

テキストフィールド	印字結果	回転	印字結果
^Q50,0,2 ^W50 ^S6 ^H10 ^R10 ^D8,27,00,8,39,36 ^L AC,10,10,1,1,1,0,PRINTER AC,10,50,1,1,1,0,^D AC,10,100,1,1,1,0,^T E	PRINTER AUG/27/00 08:39:36	^Q50,0,0 ^W50 ^S6 ^H10 ^L AC,100,30,1,1,1,0,ROTATION 0 AC,38,0,1,1,1,1,ROTATION 90 AC,260,150,1,1,1,2,ROTATION 180 AC,290,200,1,1,1,3,ROTATION 270 E	ROTATION 0 ROTATION 90 ROTATION 180 ROTATION 270
文字間隔指定	印字結果	アジアンフォント	印字結果
^Q30,0,0 ^W50 ^S6 ^H10 ^L AC,10,10,1,1,10,0,PRINTER AC,10,100,1,1,1,0,PRINTER E	PRINTER PRINTER	^L AZ,100,12,1,1,0,4,中文 AZ,223,65,1,1,0,5,中文 AZ,60,100,1,1,0,6,中文 AZ,90,144,1,1,0,7,中文 E	中文 中文 中文 中文

### バーコード

例	印字結果	回転	印字結果
^H10 ^S6 ^Q30,0,2 ^W60 ^L BB,20,100,3,3,100,0,1,1234567 E		^H10 ^S6 ^W25 ^Q30,0,2 ^L BE,100,20,2,4,80,1,1,123456789012 E	

### 日時表示

データフォーマット	印字結果
Dy4-me-dd	2000-MAY-29
Dy4/mn/dd	2000/05/29
Dmn dd y4	05 29 2000
Dy4	2000
Dme	MAY
Ddd	09
Dy4-me	2000-MAY
Dme-dd	MAY-29

ライン印字

例	解説	印字結果
^Q50,3 ^W100 ^E32 ^H7 ^P1 ^S6 ^L Lo,212,45,311,53 Lo,244,11,252,128 Le,34,43,149,51 Le,72,8,80,121 E	; 濃度= 7 ; スピード = 6 インチ/秒 ; ラベルサイズ= 50mm, gap = 3 mm ; ラベル幅 = 100mm	

四角形印字

例	解説	印字結果
^H10 ^S6 ^Q50,2 ^W70 ^L R20,20,120,120,8,8 E	; (x,y) = (20,20), (x1,y1) = (120,120) lrw = 8 dots, ubw = 8 dots	

PDF417

例	印字結果
^Q50,0,3 ^W70 ^S6 ^H10 ^L P30,20,3,3,3,3,1,100 12345678 12345678 12345678 12345678 12345678 12345678 12345678 12345678 12345678 12345678 E	

マキシコード

例	印字結果
^Q50,0,0 ^W70 ^S6 ^H10 ^L M30,20,1,1,2,840,068107317,8,0,123456 E	

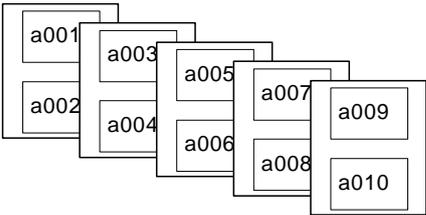
データマトリックス

例	印字結果
^Q50,0,3 ^W90 ^S6 ^H10 ^L X30,20,5,123456789012345678901234567890 E	

剥離機能設定

例	印字結果
^Q50,2 ^W50 ^S6 ^O1 ^E10 ^P1 ^H10 ^L AD,20,20,1,1,3,0,Stripper Function E	* 剥離機能使用

カッター機能設定

例	解説	印字結果
^Q20,0,0 ^H5 ^S2 ^P10 ^D2 ^C1 ^L R10,10,120,90,2,2 C0,001,+1,A1 AC,20,30,1,1,1,0,a^C0 E	連続紙使用 ラベル長20mm ;フィード量 :0mm ;10枚印字 ;2枚毎にカット	

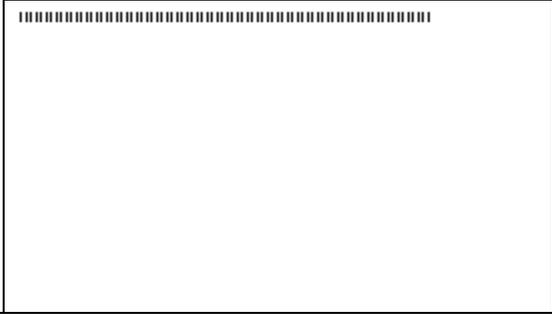
連番印字

TEXT			
例 1	印字結果	例 2	印字結果
^Q10,0,0 ^W30 ^S6 ^H10 ^P10 ^L C0,0000,+2,A1 AB,10,10,1,1,2,0,^C0 E	0018 0016 0014 0012 0010 0008 0006 0004 0002 0000	^P10  続いてあと10枚印字を行う場合は、全てのコマンドを記述しなくても“~P10”だけコマンドを送れば、同じ内容で印字を行うことができます。	0038 0036 0034 0032 0030 0028 0026 0024 0022 0020
例 3	印字結果	例 4	印字結果
^Q10,0,0 ^W30 ^S6 ^H10 ^P4 ^C2 ^L C0,0000,+2,A1 AB,10,10,1,1,2,0,^C0 E	0006 0006 0004 0004 0002 0002 0000 0000	^Q10,0,0 ^W30 ^S6 ^H10 ^P8 ^L C0,0000,+2,A1 AB,10,10,1,1,2,0,abc^C0def E	abc0014def abc0012def abc0010def abc0008def abc0006def abc0004def abc0002def abc0000def
バーコード			
バーコード	印字結果		
^H10 ^S6 ^Q20,0,2 ^W50 ^P10 ^L C0,000,-1,A3 BE,20,100,3,3,100,0,1,111111^C0111 E			

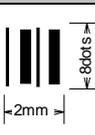
Graphic driver format

例	解説
^Q20,2 ^W50 ^R20 ~G G(AA G(AA G(AA G(AA G(AA G(AA	<p>; Left margin = 20 dots</p> <p>For this 例, ASCII “(“ character is 40 decimal (=40 bytes). Total 14 lines, so the graphics height is 1.75mm (14 dots)</p>
	印字結果

G(AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA  
G(AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA  
G(AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA  
G(AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA  
G(AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA  
G(AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA  
G(AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA  
G(AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA  
E



パターン印字

例	印字結果
<pre> ^Q,20,0,0 ^W40 ^S6 ^D5 ^L Q40,10,2,8 GGGGGGGGGGGGGGGGGG E                     </pre>	 Length: 2x8=16
解説	
<pre> 0100011101000111 0100011101000111 0100011101000111 0100011101000111 0100011101000111 0100011101000111 0100011101000111 0100011101000111 0100011101000111 0100011101000111                     </pre> <p style="text-align: center;">HEIGHT = 8 DOTS</p> <p style="text-align: center;">← 1 BYTE    ← 1 BYTE</p> <p style="text-align: center;">← WIDTH = 2 BYTES →</p> <p style="text-align: center;">G : 01000111 (binary)</p>	

180° 回転印字

例	解説	印字結果
<pre> ^Q40,2 ^W50 ^S6 ^H10 ^R50 ^L AC,153,42,1,1,1,2,ROTATE BB,156,112,2,5,50,2,1,1234567 E                     </pre>	; 180° 回転	
<pre> ^Q50,0,0 ^R200 ^L AC,20,10,1,1,1,0,ROTATE BB,20,45,2,5,50,0,1,1234567 E                     </pre>	; プリンタ仕様の最大幅以上の値を指定することにより、回転せずに印字します。	<p style="text-align: center;"><b>ROTATE</b></p> 

グラフィックのダウンロード

下記の方法でプリンタにグラフィックデータをダウンロードします。

1. グラフィックデータを用意します。(ファイル名: TREE.PCX, ファイルサイズ: 922 bytes).
2. 2つのテキストファイルを用意します。(TEST1.TXT/TEST2.TXT 下の表参照)

TEST1.TXT	TEST2.TXT	印字結果
<pre> ~EP,TREE,922                     </pre>	<pre> ^Q30,0,0 ^W50 ^S2 ^H5 ^L Y30,50,TREE E                     </pre>	

3. DOSプロンプトから下のコマンドを打ち込みます。  
COPY TEST1.TXT PRN␣

COPY TREE.PCX PRN/B.↓  
COPY TEST2.TXT PRN.↓

ラベルフォーマットのダウンロードと連番設定

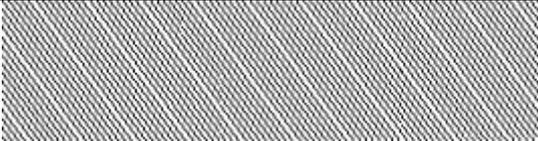
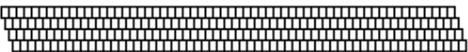
例	解説
^Ftest ^Q50,0,15 ^W70 ^H10 ^S6 ^E12 ^L C0,0000,+1,serial no. V00,10,name V01,8,barcode V02,6,price AE,108,306,1,1,1,0,\$^V02 AC,39,27,1,1,1,0,S/N.^C0 AD,126,78,1,1,1,0,^V00 BA,108,135,2,5,100,0,1,^V01 E	;ファイル名“test”でプリンタにダウンロードする。        ; 連番の定義(C0) ; 可変データの定義(V00, V01, V02)

ラベルフォーマット呼び出し

例 1	解説	印字結果
^Ktest 0000 Book 12345678 200.00 E ^P1	フォーマットの呼び出し(サイズ等変更無し) C0 = 0000 V00 = book V01 = 12345678 V02 = 200.00	S/N.0000 book  * 12345678 * \$200.00
例 2	解説	印字結果
^Ktest 1111 Pencil 12345678 100.00 E ^Q35,0,0 ^S6 ^H10 ^P2	フォーマットの呼び出し(サイズ等変更あり) C0 = 1111 V00 = pencil V01 = 12345678 V02 = 100.00 サイズ変更 印字スピード変更 濃度変更 2枚印字	S/N.1111 Pencil  * 12345678 * \$100.00  S/N.1112 Pencil  * 12345678 * \$100.00

可変データやラベルフォーマットを変更する度に^Kname から ~Pxを繰り返してください。

ヘッドチェックとバージョンリスト

例	印字結果
~T	
~V	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>EZXXX : VX.XXX            Serial port :96,N,8,1</p>  <p>1 DRAM installed            Image buffer size : 1475K            000 FORM(S) IN MEMORY            000 GRAPHIC (S) IN MEMORY            000 FONT(S) IN MEMORY            000 ASIAN FONT(S) IN MEMORY            150K BYTES FREE MEMORY            ^S6 ^H8 ^R000 ~R200            ^W100 ^Q100,3            Option : ^D0 ^O0 ^AD            Gap Sensor AD : 129 162 195            (3)</p> </div>

	例	印字結果
1. 単価と個数を入力し、合計金額を計算するサンプルです。	<pre> ~MDELFL,test1 ^Ftest1 ^Q60,0,0 ^P1 ^L V00,10,Price V01,10,Amount V02,10,Total Price V#OP*,V02,V00,V01 V#SET,UNPROMPT,V02 AC,30,110,1,1,0,0,Price: ^V00 AC,30,189,1,1,0,0,Amount: ^V01 AE,30,273,1,1,0,0,Total Price: ^V02 E  ^Ktest1 100 3 E ~P1 </pre>	<pre> Price: 100 Amount: 3 Total Price: 300 </pre>
2. 計算	<pre> ~MDELFL,test2 ^Ftest2 ^Q60,0,0 ^L V00,10,Input V00 V01,10,Input V01 V02,10,Input V02 V03,20,Input V03 V04,20,Input V05,20,Input V06,20,Input V#OP+,V02,V01,V00 V#OP-,V03,V01,V00 V#OP*,V04,V01,V00 V#OP/,V05,V01,V00 V#OP%,V06,V01,V00 V#SET,UNPROMPT,V02 V#SET,UNPROMPT,V03 V#SET,UNPROMPT,V04 V#SET,UNPROMPT,V05 V#SET,UNPROMPT,V06 AA,38,37,1,1,0,0,V00=^V00 AA,38,77,1,1,0,0,V01=^V01 AE,38,115,1,1,0,0,V1+V0=^V02 AE,38,165,1,1,0,0,V1-V0=^V03 AE,38,215,1,1,0,0,V1*V0=^V04 AE,38,265,1,1,0,0,V1/V0=^V05 AE,38,315,1,1,0,0,V1 MOD V0=^V06 E  ^Ktest2 10 20 E </pre>	<pre> V00=10 V01=20  V1+V0=30 V1-V0=10 V1*V0=200 V1/V0=2 V1 MOD V0 = 0 </pre>

	~P1	
--	-----	--

dBase III印字

customer.dbf

NAME	ADDRESS	PHONE
Tom	Address of Tom	11111111
Mary	Address of Mary	22222222
John	Address of John	33333333
Joe	Address of Joe	44444444
Bob	Address of Bob	55555555
Gilbert	Address of Gilbert	66666666

例	解説	印字結果
^Q60,0,0 ^P1 ^L FILEDB,OPEN,customer V00,10,Prompt0 V#LINKDB,PHONE,V00 FILEDB,FIND,NAME,Mary AC,79,120,1,1,0,0, Mary's phone: ^V00 E	Print out Mary's phone number	Mary's phone: 22222222
^Q60,0,0 ^P1 ^L FILEDB,OPEN,customer V00,10,Prompt0 V#LINKDB,ADDRESS,V00 FILEDB,FIND,NAME,John AC,79,120,1,1,0,0, ^V00 E	Print out John Address	Address of John
^Q60,0,0 ^P1 ^L FILEDB,OPEN,customer V00,10,Prompt V#LINKDB,NAME,V00 FILEDB,MOVE,LAST AC,79,120,1,1,0,0,Last Name is ^V00 E	Print out last person name	Last Name is Gilbert
^Q60,0,0 ^P1 ^L FILEDB,OPEN,customer V00,10,Prompt V#LINKDB,NAME,V00 FILEDB,MOVE,2 AC,79,120,1,1,0,0,Second Name is ^V00 E	4.Print second person name	Second Name is Mary
^Q60,0,0 ^P3 ^L FILEDB,OPEN,customer C0,1,+1,DB Move C V00,10,name V01,10,phone	Print first, second and third person phone number	Tom Phone is 11111111 Mary Phone is 22222222 John Phone is 33333333

V#LINKDB,NAME,V00 V#LINKDB,PHONE,V01 FILEDB,MOVE,C0 AC,79,120,1,1,0,0,^V00 Phone is ^V01 E		
--	--	--